

第24回 平取ダム地域文化保全対策検討会

議 事 要 旨

日 時：令和6年3月22日（金）午後3時00分開会
場 所：平取町中央公民館 1階 大ホール

北海道開発局室蘭開発建設部
鵠川沙流川河川事務所

第 24 回 平取ダム地域文化保全対策検討会 議事要旨

日 時：令和 6 年 3 月 22 日（金）午後 3 時 00 分開会

場 所：平取町中央公民館 1 階 大ホール

出席者：	井 澤 敏 郎	平取町議会総務文教常任委員会委員長
	宇 南 山 嘉 宣	平取アイヌ協会副会長
	遠 藤 桂 一	平取町長
	落 合 研 一	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
	萱 野 公 裕	平取アイヌ協会副会長
	川 奈 野 栄 子	平取アイヌ協会副会長
	木 村 英 彦	平取アイヌ協会会長
	高 山 修	平取町議会議長

（五十音順／敬称略）

次 第：

1. 開会
2. 挨拶
3. 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）について
4. 審議 地域文化に係る調査・検討について
5. 報告事項 地域文化調査の成果概要について
6. 閉会

資 料：

会議次第

資料-1 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）

資料-2 地域文化に係る調査・検討について

資料-3 地域文化調査の成果概要

第 24 回平取ダム地域文化保全対策検討会 議事録

1. 開会

- 事務局) 司会進行、注意事項
- 事務局) 資料の確認

2. 挨拶

- 所長) 鷗川沙流川河川事務所の〇〇です。本日は皆様お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。この平取ダム地域文化保全対策検討会は、一昨年度に完成いたしました平取ダムの建設にあたりまして、様々な調査や取り組みを報告させていただき、委員の皆さんにご意見を伺いながら、次年度の調査へと活かしていくことを繰り返してまいりました。平取ダムが完成した以降につきましては、取り組みの成果をしっかりと評価していきたいと考えており、通常であればダム完成とともに検討会から協議会などに移行していくところではありますが、あえて検討会を残し、引き続き皆様のご意見をうかがう場として本日会議を開催しております。本日は今年度行った調査や取り組みについて報告させていただきますので、委員の皆様にはご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

3. 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）について【資料—1】

- 事務局) それでは次第に従いまして、「3. 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）」の確認に入らせていただきます。今年度の主な変更点をご説明します。「第 3 条 検討会の構成」について、別表 1 の中で井澤敏郎様（平取町議会総務文教常任委員会委員長）、落合研一様（北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授）、松田拓美様（平取町教育委員会教育長）が、新たに検討委員会の委員となっております。また、高山修委員の所属が平取町議会議長、山崎幸治委員の所属が北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授へ変更となっていることをご報告いたします。なお委員の委嘱期間は、令和 6 年 3 月 31 日までとしております。今、ご説明した検討会設置要領（案）について、委員の方々からご質問やご意見等ございましたらお願いいたします。
- 事務局) 特段ないということですので、本日よりこの（案）を取り、本検討会の設置要領といたします。また、昨年開催しました第 23 回検討会の議事録は、室蘭開発建設部

のホームページに掲載していることをご報告いたします。

- 事務局) 続いて、座長の選出に移らせていただきます。検討会の座長は、検討会設置要領第4条の第2項で委員の互選と定められております。つきましては、委員の皆様から座長のご推薦または自薦をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。
- 委員) 町のアイヌ政策全体についてとりまとめを行っている〇〇委員にお願いしてはどうかと思います。
- 事務局) ただいま、〇〇委員へのご推薦いただきましたが、他にご推薦または自薦はございますでしょうか。
- 事務局) 異議なしという声をいただきました。ありがとうございます。それでは、委員の皆様のご賛同いただいたということで、〇〇委員に座長をお願いしたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 委員) ただいま座長に推薦いただきました〇〇でございます。円滑な議事進行に努めてまいりますので、皆様ご協力よろしくお願いいたします。

4. 審議：地域文化に係る調査・検討について【資料—2】

- 座長) 本日の大まかなスケジュールですが、最初にこれまでの地域文化に係る調査・検討について審議を行いまして、その次に報告事項として具体の地域文化調査の報告がございます。それでは、「4. 審議」といたしまして、地域文化に係る調査・検討について事務局より説明をお願いいたします。
- 事務局より説明—————
- 座長) 今、事務局より説明のあった地域文化に係る調査の内容について、委員の方々からご質問・ご意見等あればお願いしたいと思います。
- 委員) 資料には、植物のモニタリングについては載っていたんですけど、カムイワッカなど水に浸かった所の状況が載っていないようですが、そのへんが現在どうなっているか、調査を行っているのか教えていただきたい。

- 事務局) 資料に掲載した箇所ほど詳細ではありませんが、全地区について踏査を行っており、状況の確認を行っています。

5. 報告事項：地域文化調査の成果概要について【資料—3】

- 座長) それでは、その他に無いようでしたら、次に5の報告事項といたしまして、地域文化調査の概要について、平取町アイヌ文化保全対策室より説明をお願いしたいと思います。
- 対策室より説明—————
- 座長) ありがとうございました。今、各分野の説明をいただいたので、委員の方々からのご質問・ご意見があればお願いしたいと思います。
- 委員) 今日の説明の中でデータベースというのがよく出てきましたが、そのデータベースの活用についてなんですが、どこでどのようにすれば見られるのか説明してほしいです。
- 対策室) 例えばアイヌ語地名のデータベースについては、自然体験会などの最中にツアーの参加者にご説明したり、動物などのデータベースにつきましては、貫気別小学校での総合的な学習プログラムの中で説明に使っております。
- 委員) 特にどこへ行けば見れるということでないのであれば、最終的にどうするのか。せっかく何十年もやってきた膨大な資料をきちっとインターネットなどで見られるようにするとか、そのようなことは考えていないのかお聞きしたい。
- 対策室) 現在博物館の方でも、そういったデータの形が見れるようになりつつあるという話もお聞きしており、ひとまずは博物館との協議を進めていきたいと思います。またインターネットでの公開につきましても、技術的に可能かどうかを含めて検討を進めていきたいと思います。
- 委員) できればデータベースの公開はやった方が良くはないかと思っています。博物館に頼るとか、そういうのではなくて、対策室独自でしっかりと予算を付けてやった方が良くはないか。

- 委員) ビジターセンターの使い方についてなんですけど、ビジターセンターをつくるにあたって、その活用をどうするんだっていうことは前々から議論されていて、色々な活用方法があることがこれまでに示されていたんですけど、ビジターセンターができて以降、実際にやっていないような感じがします。平取町の場合は、各大学と連携を図っているという話もあるので、こちらから大学に持ちかけて、ビジターセンターを使いながら、できれば豊糠山荘にも泊まって、あそこをフィールドとして使うようなことを対策室独自に考えてもいいのではないかな。観光協会とか公社とは別に、対策室は独自にちゃんと考えていかなければだめなんじゃないかな。
- 対策室) ありがとうございます。そういった体験メニューについて、どのようなことができるか考えていきたいと思います。
- 委員) 何ができるかはビジターセンターをつくる前から、この検討会でも話されてきたことなのに、それが行われていないというのが問題です。これまでの検討会などで出ていたことを拾い上げて、きちっと開発局とも話をしながらそういう事業を進めていかないと、せっかくビジターセンターをつくった意味がないと思うので、それをぜひやって下さい。
- 委員) P24-25 に、定点カメラで動物の撮影をして何月に何件確認したという資料があるんですけど、これは1年中カメラを仕掛けているなかで、この3カ月しか目撃がないのか、カメラを設置している期間に限られているからここしかないのか教えてほしいです。
- 対策室) 定点カメラは、ずっと継続してつけているということではなくて、動物の痕跡が見られた場所などに限定してつけております。その期間もずっとつけているではなくて、一定の期間のデータとなっています。
- 委員) 今のまとめ方では、4〜7月、11〜3月はいないというように受け取られる可能性があるので、勘違いさせないようなまとめ方にしていきたいと思いました。
- 委員) ノカピライウォロ方面にクマが出て外を歩くのをやめたという説明がありましたが、クマの出没状況を常に確認できるようにしてあるのか、知床などではガイドがいてクマが出たら案内を中止するようなことをしていたと思うんですけど、ここではどのように対応しているのか教えてほしいです。
- 対策室) ノカピライウォロ・ビジターセンターの中でも、クマの出没状況については、

分かるようにしていたり、標本園の入口にはクマの出没に関する看板を設置しています。

- 委員) それは職員の方が毎日巡回しているとか、そういう感じなんですかね。
- 対策室) 標本園等の作業等もございますので、出没の情報を受けた際は、情報の更新を行っております。
- 委員) 単年度でこれだけ内容の濃い調査がされていて、今日は一部しか発表できなかったとしてもこれだけのことができてるのは、充実したものだと思います。最初の調査・検討の説明の中で、今後についての説明があり、地域文化に係る保全対策のモニタリング調査の実施が R5. 3. 29 から 3 年間程度を想定とされている。対策室の報告書でも、それぞれ来年度の課題も整理されていました。3 年間程度を想定して最終取りまとめをするとなると、どういったかたちが着地点になるのか。こういった活動は、発展的に保全協議会に移行した後に、どうなっていく見通しになっているのかというところを確認したいです。
- 事務局) 現段階では 3 年間を目途としておりますが、具体的な着地点についてはまだ議論しているところで具体的にお答えできない状況でございます。平取ダム地域文化検討会は平取ダムに特化した検討会でしたが、今後は平取ダムのみならず、沙流川全体でこのような取り組みを展開していくことが必要ではないかという議論がありまして、平取ダム検討会での答えがある程度見えた段階で、協議会に移行して検討会は発展的解消することを想定しております。
- 委員) 平取ダム関連といいながら、現在も周辺の調査をしているので、協議会に発展的に解消ということであれば、望ましいことと思っております。
- 座長) はい、ありがとうございました。その他ございますか。それでは皆様、どうもありがとうございました。色々な大学との交流とか、アイヌ文化への関心がますます高まっているような傾向になっておりまして、当町での研修に熱心な大学も多いような状況ですので、日高の国立公園化の話もあるなかで、豊糠地区でもいろんな研修のバリエーションを考えながら、町としても開発局と連携しながら取り組みを進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。それでは本日用意された議題はこれですべて終わりましたので、進行を事務局にお返しさせていただきます。

6. 閉会

- 事務局) 遠藤座長ありがとうございました。事務局といたしましても、本日のご意見を踏まえて、今後とも委員各位のご指導をいただき、ご相談させていただきながら調査・検討を進めていきたいと思ひます。ご協力よろしくお願ひいたします。また本日の資料につきましては、室蘭開発建設部のホームページに掲載する予定でございます。それでは以上をもちまして、第24回平取ダム地域文化保全対策検討会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

以上